

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p>1 一人一人の児童生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。</p>	<p>2 友達への思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>3 道徳・心の教育の充実</p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
--	--	---

②確かな学力を育む教育の推進

<p>4 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>5 授業力向上</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>6 ICT活用</p> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
--	---	---

③健やかな体を育む教育の推進

<p>7 健康づくり</p> <p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<p>8 児童生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。</p>
--	--

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

②特別支援教育の推進

<p>9 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>10 学校の支援体制</p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<p>11 共生社会を担う人材の育成</p> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>
---	---	---

②特別支援教育の推進

①子どもたちの身近な安全対策の充実

<p>12 安全と事故防止</p> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>13 施設・設備の安全管理</p> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
--	---

②最適な学習環境の整備

<h3>14 教育方針・目標の理解</h3>	<h3>15 家庭や地域との連携協力</h3>																
<p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>																
<table border="1"> <caption>Item 14: Understanding of school policies and goals</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Yes (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>~85</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>~80</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>~85</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Yes (%)	保護者	~85	児童	~80	教職員	~85	<table border="1"> <caption>Item 15: Collaboration with family and community</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Yes (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>~85</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>~80</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>~85</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Yes (%)	保護者	~85	児童	~80	教職員	~85
Category	Yes (%)																
保護者	~85																
児童	~80																
教職員	~85																
Category	Yes (%)																
保護者	~85																
児童	~80																
教職員	~85																

⑧本校の教育

<h3>16 主体的な学び</h3>	<h3>17 基本的な生活習慣①</h3>	<h3>18 基本的な生活習慣②</h3>																								
<p>子どもは、授業中、自分の考えをもち、友達と伝え合うことができていると思いますか。</p>	<p>子どもは、早寝早起き、朝ご飯の生活習慣の重要性を理解し、実践できていると思いますか。</p>	<p>子どもは、メディアの時間を決めて、守っていると思いますか。</p>																								
<table border="1"> <caption>Item 16: Active learning</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Yes (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>~85</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>~80</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>~85</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Yes (%)	保護者	~85	児童	~80	教職員	~85	<table border="1"> <caption>Item 17: Basic life habits ①</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Yes (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>~85</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>~80</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>~85</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Yes (%)	保護者	~85	児童	~80	教職員	~85	<table border="1"> <caption>Item 18: Basic life habits ②</caption> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Yes (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>~55</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>~50</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>~55</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Yes (%)	保護者	~55	児童	~50	教職員	~55
Category	Yes (%)																									
保護者	~85																									
児童	~80																									
教職員	~85																									
Category	Yes (%)																									
保護者	~85																									
児童	~80																									
教職員	~85																									
Category	Yes (%)																									
保護者	~55																									
児童	~50																									
教職員	~55																									

来年度の具体的な取り組みについて

学校経営重点計画の重点目標「(1)プロジェクト型学習を実践し、主体的に学び、確かな学力と考える力を身に付けた子どもを育成する」については、下欄に示したとおり、良好な結果が出ていると評価された。「(2)健康で安全な生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる子どもを育成する」について、結果が出始めてはいるがまだ課題であると評価された。来年度は、本年度の取組を継続・改善するとともに、次の点について取り組みたい。

重点努力目標(1)については、①本年度「ICT活用モデル校研究発表会」で他校の教職員からも「公開授業やオンライン授業の取組動画が参考になった」「今後の実践に役立つ内容であった」などと好評価を得た取組について、次年度も継続しながら更なる充実を図る、②本年度「熊本市学力検査」の結果（全国との比較や経年変化での比較）が良好であったことを受け、課題のあった単元等については本年度中に復習を済ませ、次年度も継続し、主体的な活動の基盤となる基礎的・基本的事項の習得を図る、などの取組を行う。

重点努力目標(2)については、①基本的生活習慣の確立として「早寝早起き朝ごはんの推進（科学的根拠を示した啓発の推進）」「メディアルールの作成と徹底」について各学級での取組や学年便り等での情報発信等を更に充実させる、②特に課題がある児童については家庭との連携を密にしながら個別指導の充実を図るなど、今後も継続して学校と家庭が連携を図って取り組んでいく。

保護者と教職員とで肯定的な回答に差のあった「1 一人一人の児童生徒の尊重」「8 児童生徒理解」「9 いじめや問題への対応」等について、本年度も校内研修でアサーショントレーニングなどを行ってきており、3学期は課題のある児童と教職員の関係も改善し始めている。次年度も校内研修でのアサーショントレーニング等を充実させるとともに、「見つめる会」等で教職員の共通理解を図りながら、各学級で課題が生じた場合に児童に寄り添ったより丁寧な対応や保護者との連携を図るようとする。

学校関係者評価

熊本市教育振興基本計画に基づく15の評価項目（本校の独自項目を除く）において、肯定的な回答（4 そう思う・3 どちらかといえばそう思う）の割合の平均が三者（保護者・児童・教職員）すべてでほぼ90%を超えている。このことから、新型コロナウイルス感染症まん延防止のために制約がある中、子どもたちがしっかりと学校生活を送っており、本校の取組が全体として好評価されていると考えられる。

学校経営重点目標「(1)プロジェクト型学習を実践し、主体的に学び、確かな学力と考える力を身に付けた子どもを育成する」について、関連する「②確かな学力を育む教育の推進」の3項目（「4」～「6」）と「16 主体的な学び」において、肯定的な回答の割合が三者でほぼ90%を超えており、良好な評価を得ている。熊本市教育委員会のタブレット端末活用研究モデル校の指定を受け、研究主題「自ら学びとる子どもの育成～プロジェクト型学習を生かした授業改善～」を掲げ、「プロジェクト型学習」や「ICTの効果的な活用」等について全職員で研修しており、教職員の授業力向上が図れていることに起因すると考えられる。

学校経営重点目標「(2)健康で安全な生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる子どもを育成する」について、「7 健康づくり」「17 基本的生活習慣①」では肯定的な回答の割合が三者でほぼ80%を超えているが、「18 基本的生活習慣②」では肯定的な回答の割合が三者とも50～65%で低い。ただし、評価項目「18」においても、昨年度と経年比較すると、肯定的な回答の割合が保護者と教職員の二者で10%向上（児童は同じ割合）しており、少しずつ評価の改善が図れている。「全校集会での計画的な校長講話」や「学校便りや保健便り等での保護者啓発」等に加え、本校と連携した「黒髪小PTA『早寝早起き朝ごはん運動』」も展開されており、基本的生活習慣の確立として具体的方策で挙げている「早寝早起き朝ごはんの推進」と「メディアルールの作成と徹底」については、その効果が出始めていると考えられる。今後も取組を継続していく。

第3回学校評議員会（書面による意見聴取）では、①学校便りや学校HP「黒髪夢日記」等での保護者や地域への情報発信が分かりやすい、②PTA「早寝早起き朝ごはん運動」等の学校と保護者が連携した取組がなされている、③学校評価ではコロナ禍の中での対応にも関わらず、保護者・児童・教職員の評価が概ね良好であり、「学校運営」及び「教職員の努力」が好評価できると考える、などのプラス評価が得られている。一方で、①「7 健康づくり」「17 基本的生活習慣①」「18 基本的生活習慣②」については昨年度より向上しているがまだ課題である、②「1 一人一人の児童生徒の尊重」「3 道徳・心の教育の充実」「8 児童生徒理解」「9 いじめや問題への対応」については保護者と教職員の肯定的な回答の割合に差があり課題である、なども指摘されている。今後も学校と保護者が連携を取りながら、児童に寄り添いながら丁寧な対応を行っていく必要がある。